

文化・社会におけるジェンダー秩序の検討

研究代表者 杉原名穂子

1. 分担者

中村 潔
渡辺 登
松井 克浩
古賀 豊
北村 順生
三谷 武司
杉原 名穂子

2. 協力者・所属

佐山 光子 (医学部)
丹野 かほる (医学部)
福原 昌恵 (教育人間科学部)

3. 2007年度の研究活動の概要

2007年度は北村順生氏を報告者に迎え、「メディアとジェンダー」というタイトルで研究会を1回、開催した。北村氏はメディア研究という領域で、ジェンダー視点からのこれまでの研究成果を報告し、さらに具体的にテレビの報道番組を分析し、メディア分野でのジェンダーアプローチの意義と可能性について問題を提起した。

その他、プロジェクトメンバーがそれぞれ個別に、調査活動を行った。渡辺登は2008年3月4日～9日に韓国全羅北道扶安郡において住民投票運動リーダーへのインタビュー調査を行った。女性リーダーもその中では重要な位置をしめ、ジェンダーと政治をめぐる研究成果がその分析には用いられている(な

お、この調査は文部科学省科学研究費基盤研究C「日韓の問題解決型行動におけるソーシャルキャピタル転換メカニズムの比較研究」に基づく。

4. 2007年度の研究成果の概要

松井克浩、杉原名穂子がそれぞれ、文部科学省科学研究費で行った調査について報告書にまとめ成果として公表した。

5. 2007年度の研究成果の一覧

松 井 克 浩

「農家の存続戦略と資源 — 佐渡市西三川地区の事例」『農家の存続戦略と資源 — 「イエ」と「ムラ」の再構築』平成16-19年度科学研究費補助金・基盤研究（C）研究成果報告書，2008年3月，15-42。

杉 原 名 穂 子

『現代の親子関係と教育意識』2005-2007年度科学研究費補助金・基盤研究（C）成果報告書（代表者 石川由香里），2008年3月。